

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大	事業	051	林業事務事業	中	事業	01	林業事務事業		
小	事業	01	林業事務事業	02	憩いの里山管理事業	他		事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
市の林業振興を推進するために必要な経常経費及び各種林業関連団体への負担金事業の実施により、林業全般にわたり振興を図る。

◆林業事務事業

**【事業の概要】**

- 需要費 25 千円
  - ・消耗品費
- 委託料 936 千円
  - ・工事積算システム保守点検委託料 148千円
  - ・林地台帳整備業務委託料 788千円
- 使用料及び賃借料 210 千円
  - ・電算システムリース料
- 負担金 179 千円
  - ・福井県山林協会（他6団体）負担金
- 補助金 232 千円
  - ・森林組合労務退職金共済事業費補助金

◆憩いの里山管理事業

**【事業の概要】**

- 使用料及び賃借料 138 千円
  - ・土地借上料（2件 2,491㎡+60㎡）

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,720	799	2,000	921
	人件費	1,121	1,007	3,555	114
	総事業費	2,841	1,806	5,555	1,035
人員	正職員	0.16 人	0.15 人	0.50 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.15 人	0.50 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	1,500	0
	一般財源	2,841	1,806	4,055	1,035

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	伐採届出件数	件	目標	20	20	20	20	20
			実績			11	23	12
		達成率(%)	0.0	0.0	55.0	115.0	60.0	
指標	指標の説明 地域森林計画対象森林における伐採行為実施者からの届出数							
指標	森林経営計画数	件	目標	4	4	4	4	4
			実績			4	4	4
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明 森林経営計画の有効件数							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	概ね目標を達成しています。 森林法改正に伴う林地台帳の整備を実施しました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			各種林業関連団体への負担金や補助金を通して市の林業振興を推進することができました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	各種林業関連団体への負担金を通して市の林業振興を推進します。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	051	林業事務事業			中事業	06	緑の少年団活動支援事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱、緑の募金事業実施要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p><b>【事業の目的】</b>                  緑の少年団の活動に対し、県緑化推進委員会に併せて市の補助を行うことで、緑化に対する意識の高揚を図る。</p>
<p><b>【事業の概要】</b>                  ○補助金 240 千円                  ・緑の少年団活動支援事業補助金                  @60,000円×4団体                  事業実施主体：雄島緑の少年団（団員 39名）                  長畝緑の少年団（団員 63名）                  大石緑の少年団（団員108名）                  兵庫緑の少年団（団員 68名）                  事業内容 学習・体験活動、奉仕活動、レクリエーション活動</p>

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	240	240	240	0
	人件費	841	1,343	1,422	△ 502
	総事業費	1,081	1,583	1,662	△ 502
人員	正職員	0.12 人	0.20 人	0.20 人	△ 0.08 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.20 人	0.20 人	△ 0.08 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	160	160	160	0
	一般財源	921	1,423	1,502	△ 502

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	緑の少年団活動数	団体	目標	4	4	4	4	4
			実績			4	4	4
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明		市内で活動している少年団の数					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	継続的な緑化活動の実施により、団員の緑化に対する意識が醸成されています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			
4つの各緑の少年団の活動を通して、団員の緑化に対する意識を育むことができました。				

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続	
目標年度		目標年度		
方向性の説明	緑の少年団の活動を通して、団員の緑化に対する意識の高揚を図ります。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	001	松くい虫防除事業	中	事業	01	松くい虫防除事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	森林病虫害等防除法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業、松くい虫被害特別対策事業			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 国定公園内の景観を構成し、潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫被害から守るため、適期に適正な防除や駆除を行うことにより松くい虫被害の蔓延防止に努め、松林の保全対策を図る。

**【事業の概要】**  
 ○需用費 ・ 消耗品費 39 千円  
 ○委託料 15,152 千円  
 ・ 松くい虫被害総合対策、特別対策事業委託料  
 事業実施場所：三国町安島、崎 他 (単位：千円)

事業 (委託) 名	事業内容	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
			国	県	市
被害調査 (県単)	三国・丸岡787.0ha	400		170	230
地上散布 (県単)	10.0ha	950		688	262
地上散布 (市単)	10.0ha	950			950
特別伐倒駆除 (県単)	95㎡、297本	2,743		1,550	1,193
特別伐倒駆除 (市単)	40㎡、125本	1,242			1,242
樹幹注入 (国庫)	グリーンガード1,550本	4,780	2,237	1,119	1,424
樹幹注入 (県単)	グリーンガード 564本	1,800		785	1,015
倒木処理外	一式	2,287			2,287
計		15,152	2,237	4,312	8,603

○原材料費 65 千円  
 ○備品購入費 チェンソー 40 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	15,296	22,191	25,215	△ 6,895
	人件費	1,682	2,685	5,758	△ 1,003
	総事業費	16,978	24,876	30,973	△ 7,898
人員	正職員	0.24 人	0.40 人	0.81 人	△ 0.16 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.24 人	0.40 人	0.81 人	△ 0.16 人
財源内訳	国県支出金	6,549	8,915	11,150	△ 2,366
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	10,429	15,961	19,823	△ 5,532

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	地上散布	ha	目標	20	20	20	20	20
			実績			20	20	20
		達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明 地上散布実施面積							
独自指標	樹幹注入対象区域面積	ha	目標	2.3	3.6	2.3	1.9	3.3
			実績			2.3	1.9	3.3
		達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明 樹幹注入対象区域面積							
指標			目標					
			実績					
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	計画区域内において、地上散布や特別伐倒駆除、樹幹注入を併用した総合的な防除を展開し、被害の拡大を防いでいます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			事業実施により松くい虫による被害の拡大を防ぐことができました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	他エリアからの侵入を完全に防ぐことは困難であるため、今後も継続して実施していく必要があります。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	001	松くい虫防除事業			中事業	06	松林健全化促進事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業			

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	856	549	659	307
	人件費	1,121	1,343	640	△ 222
	総事業費	1,977	1,892	1,299	85
人員	正職員	0.16 人	0.20 人	0.09 人	△ 0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.20 人	0.09 人	△ 0.04 人
財源内訳	国県支出金	360	360	360	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,617	1,532	939	85

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 植栽した松林の倒木被害が多発している場所において、腐葉土を除去することにより、根の深根化を促す。また、成長により過密化した松林において、不用木の除去を行い健全な生育環境を確保する。

**【事業の概要】**  
 ○委託料  
 ・松林健全化促進事業委託料 480 千円  
 事業実施場所：坂井市三国町安島 (単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費	財源内訳		
			国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)
松林健全化促進事業委託料	地表掻き起し工 A=2,751㎡	480	240	120	120

○委託料  
 ・松林維持管理業務委託料 376 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	健全化実施面積	m2	目標	2,800	2,800	2,500	375	357
			実績			2,751	375	357
			達成率(%)	0.0	0.0	110.0	100.0	100.0
指標	指標の説明 抵抗性クロマツの植栽や地表腐食土の除去等の実施面積							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	地表腐食土の除去による松の生息環境を改善することにより、松林の維持再生を図ることができました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	健全化促進事業（抵抗性クロマツの植栽・地表腐食土の除去）の実施により松林の健全化を促進していきます。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	抵抗性クロマツ植栽や堆積した腐植土の除去により、松林の再生を図ることができました。今後も天然で芽生える松の発生促進により松林の健全化を促進していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名（小事業）						
事業で得られたノウハウや気づき等						



平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業			中事業	01	林道維持管理事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市森林整備計画		

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	6,425	3,165	2,757	3,260
	人件費	1,752	1,343	2,986	409
	総事業費	8,177	4,508	5,743	3,669
人員	正職員	0.25 人	0.20 人	0.42 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.25 人	0.20 人	0.42 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	8,177	4,508	5,743	3,669

2.事業の目的・概要

【事業の目的】

森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

県単林道事業に該当しない軽微な修繕や改良事業により、市管理の林道の適正な維持管理を行ない、林業従事者などの林道利用者の利便性や安全性の向上を図る。

林道数 29 路線 総延長 55,530 m (平成29年度末現在)

○委託料 2,106 千円

・災害復旧測量測量設計業務委託料

○工事請負費 4,319 千円

林道名	事業費(千円)	補修内容
河内南谷線	931	土砂・落石除去、路面補修
曾谷豊原線	591	土砂・落石除去、路面補修
劔ヶ岳線	964	土砂・落石除去、倒木処理
禅師谷線	427	土砂・落石除去、倒木処理
木波線	480	土砂・落石除去、倒木処理
檜ノ木線	481	土砂・落石除去、倒木処理
里の道線	248	土砂・落石除去、倒木処理
その他路線	197	土砂・落石除去、倒木処理
合計	4,319	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	林道維持補修費	千円	目標	2,900	2,900	4,319	3,500	3,200
			実績			4,319	3,007	2,595
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	85.9	81.1
指標の説明		林道の維持補修に係る費用						
指標	林道補修工事件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績			13	12	10
			達成率(%)	0.0	0.0	130.0	120.0	100.0
指標の説明		林道の維持補修に係る工事件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価  
落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、工事により修繕しています。工事件数による目標値を達成し、適切な林道の管理を実施しています。

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			林道の適切な補修等により、利便性の向上と安全性を確保し、森林の適正な管理や効率的な林業経営に資することができました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、適切な林道の管理を実施していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	051	山林維持管理事業	中	事業	06	県単林道事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行う。
【事業の概要】	○工事請負費 9,790 千円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道剣ヶ岳線改良復旧工事 7,155千円                      [工事概要]・植生マット工 延長 L=21m 面積 A=236.8㎡                      ・アスファルト舗装工 延長L=280m 面積A=1,500.0㎡</li> <li>林道岩屋線改良工事 2,635千円                      [工事概要] 路面改良工（Co舗装）延長 L=70m 面積 A=300.0㎡</li> </ul>

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	9,790	7,659	6,000	2,131
	人件費	1,752	1,343	2,417	409
	総事業費	11,542	9,002	8,417	2,540
人員	正職員	0.25 人	0.20 人	0.34 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.25 人	0.20 人	0.34 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	4,895	3,800	3,000	1,095
	その他特定財源	4,800	3,800	1,700	1,000
	一般財源	1,847	1,402	3,717	445

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	林道改良工事件数	件	目標	2	2	2	2	2
			実績			2	2	2
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明		林道改良工事発注件数					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	大雨等により異常が頻発する路線について、計画的に改良工事を実施し、目標を達成しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			風雨等により路盤が洗掘され通行に支障が生じている林道の改良工事を施工し、林道利用者の利便性の向上と安全性を確保することができました。コンクリートなどの資材価格の高騰により、施工可能延長が減少しています。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	林道の利用について、利便性向上と安全性確保を図るため、改良工事を実施していきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	051	山林維持管理事業	中	事業	11	森林整備事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	有	森林法			
根拠例規	有	林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市森林整備計画			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 森林の面的整備及び振興施設整備事業に要する経費を補助することにより、森林の有する多面的機能を発揮させ、適切な森林整備を推進する。

**【事業の概要】**

○補助金  
 ・森林整備事業費補助金 6,000 千円  
 事業実施主体：坂井森林組合  
 事業内容 (単位：千円)

区分	種別	実績	事業費	補助率	補助金額
面的整備	雪起し	1.75ha	787	3%	24
	下刈り	9.26ha	3,132	3%	94
	除伐	6.33ha	1,450	6%	87
	枝打ち	3.62ha	879	6%	53
	間伐	120.81ha	161,322	3%	4,839
振興施設整備	作業路	18,614m	156,570	0.6%	903
				計	6,000

補助率 ①市（上記区分による補助率）  
 ②国県補助金(国1/2、県3/10) 直接、事業者へ交付

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	6,000	6,000	6,000	0
	人件費	981	1,007	995	△ 26
	総事業費	6,981	7,007	6,995	△ 26
人員	正職員	0.14 人	0.15 人	0.14 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.14 人	0.15 人	0.14 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,981	7,007	6,995	△ 26

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	補助件数	目標	1	1	1	1	1
			実績			1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		森林整備事業費補助金補助件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	森林整備について確実に目標を達成し、適切な森林整備を推進しているため、森林の有する多面的機能が発揮されていると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくために、間伐等の面的整備と作業路の整備を推進しました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	森林の有する多面的機能の発揮を図り、適切な森林整備を推進するためにも今後も継続していく必要があります。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業			中事業	16	森林整備地域活動支援交付金事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,540	4,480	5,600	△ 2,940
	人件費	981	1,343	924	△ 362
	総事業費	2,521	5,823	6,524	△ 3,302
人員	正職員	0.14 人	0.20 人	0.13 人	△ 0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.14 人	0.20 人	0.13 人	△ 0.06 人
財源内訳	国県支出金	1,155	3,360	4,200	△ 2,205
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,366	2,463	2,324	△ 1,097

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 森林施策計画の策定を通じて、計画的、適切な森林整備の維持を図るため、林業者等による森林施策の集約化に必要な事業を支援する。

**【事業の概要】**

○補助金 1,540 千円

負担割合：国 1/2 県 1/4 市1/4

補助単価：施業集約化の促進 30,000円/ha  
 ：森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備 40,000円/ha

(単位：千円)

交付対象者名	事業名	交付対象面積	交付金額	市
坂井森林組合	施業集約化の促進	22ha	660	165
	森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備	22ha	880	220
計	-	-	1,540	385

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	協定数	目標	1	1	1	1	1
			実績			1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明		森林整備地域活動実施協定の締結数					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							

指標に基づく評価  
 これまで全ての年度において目標を達成しています。  
 引き続き、施業の集約化を促進し適切な森林整備を推進していきます。

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない				作業路網の改良活動や間伐等施業集約化の促進により、森林の保全、水資源のかん養などを向上させることができ森林の有する多面的機能が持続的に発揮されました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし				

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図るため、林業者等による森林施業の集約化に必要な事業を支援していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						



平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	101	美しい森林景観再生事業			中事業	01	美しい森林景観再生事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有	美しい森林景観再生事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林の機能回復や、美しい森林の再生を図るため、花木などの広葉樹等の植栽や景観を阻害する不用木の除去を行う。

**【事業の概要】**  
 ○委託料  
 ・美しい森林景観再生事業委託料 1,000 千円  
 事業実施場所：坂井市三国町崎 地係 (単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費	財源内訳	
			県(9/10)	市(1/10)
美しい森林景観再生事業	抵抗性クロマツ163本 ヤブニッケイ 41本 トベラ他 56本	1,000	900	100

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,000	1,000	1,100	0
	人件費	1,261	1,343	640	△ 82
	総事業費	2,261	2,343	1,740	△ 82
人員	正職員	0.18 人	0.20 人	0.09 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.20 人	0.09 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	900	900	990	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,361	1,443	750	△ 82

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	再生事業費	千円	目標	2,000	1,300	1,000	1,000	1,100
			実績			1,000	1,000	1,100
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明	美しい森林景観再生事業に係る費用						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	これまで全ての年度において目標を達成しています。引き続き、美しい森林景観の再生を図っていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			松くい虫の被害等により景観が損なわれた国定公園の美化回復ができました。
これまでの見直しや改善等の実績				

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	自然災害や森林病虫害被害等により機能が低下している森林が見受けられるため、森林機能の回復や美しい森林景観の再生を図ります。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	201	森林・山村多面的機能発揮対策事業			中事業	01	森林・山村多面的機能発揮対策事業		
小事業	01	森林・山村多面的機能発揮対策事業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	854		854	
	人件費	1,752		1,752	
	総事業費	2,606	0	0	2,606
人員	正職員	0.25 人			0.25 人
	臨時職員	0.00 人			0.00 人
	人員計	0.25 人	0.00 人	0.00 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金	50			50
	その他特定財源	0			0
	一般財源	2,556	0	0	2,556

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
森林所有者や地域住民が協力して、森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動や山村地域の活性化に資する取組みに対し支援を行う。

**【事業の概要】**

○需要費 50 千円  
・消耗品費

○負担金 804 千円  
・福井県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会負担金  
負担割合：国75%、県12.5%、市12.5%（活動項目により割合変動）  
(単位：千円)

組織名	地区名	交付金額	うち市負担金額
味岡山・新宮整備会	丸岡町八ヶ郷	356	44
篠岡里山整備会	丸岡町篠岡	656	82
下久米田里山保全会	丸岡町下久米田	1,318	165
緑の丘保全の会	三国町緑ヶ丘	2,211	80
女形谷里山を守る会	丸岡町女形谷	1,400	171
川上森林保全会	丸岡町川上	628	78
竹田山里会	丸岡町上竹田	1,360	164
山崎三ヶ里山保全会	丸岡町山崎三ヶ	160	20
合計（8組織）		8,089	804

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	活動組織	団体	目標	8	8	8	8	6
			実績			8	9	6
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	112.5	100.0
独自指標	指標の説明							
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標					
			実績			33	26	16
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	各活動組織において地域活動として、雑木の除伐や下刈を実施しています。また、森林における体験活動の実施によって、地域活動の広がりや、森林が有する多面的機能の必要性を共有できている。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			事業内容が、山際で行うことから天候に左右され延期や中止が発生しています。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	坂井市においても、森林の多面的機能を持続的に発揮するためには、地域活動が継続される必要がありますが、各活動組織の中から後継者等が育っていくと考えています。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業総務費
大	事業	051	水産業事業	中	事業	01	水産業事務事業		
小	事業	01	水産業事務事業					他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コ ス ト	事業費	131	104	88	27
	人件費	1,261	1,208	711	53
	総事業費	1,392	1,312	799	80
人 員	正職員	0.18 人	0.18 人	0.10 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.18 人	0.10 人	0.00 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,392	1,312	799	80

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 漁港漁場施設の整備強化及び会員共同の福利厚生を図り、漁村経済の発展に寄与することを目的とした福井県漁港漁場協会の運営経費を負担することにより、坂井市漁村地域の活性化を図る。
【事業の概要】 ○旅費 26 千円 ・特別旅費 水産庁ヒアリング  ○負担金 105 千円 ・県漁港漁場協会負担金（法令外負担金） 漁港分基本割 @10千円×3漁港=30千円 漁港分事業割 47千円 栽培分均等割 市町 28千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	福井県漁港漁場協会	団体	目標	1	1	1	1	1
			実績			1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指 標	指標の説明		福井県漁港漁場協会に協賛することで成果が上がる					
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指 標	指標の説明							
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指 標	指標の説明							
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指 標	指標の説明							
指標に基づく評価	福井県及び他市町が参加しており、漁業、水産業事業促進を図るうえで必要と思われます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない 福井県漁港漁場協会に係る負担金。栽培漁業推進・全国の先進事例の案内など有効活用できています。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	今後も水産事業振興のため継続して実施します。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	01	漁港施設管理事業		
小	事業	01	漁港施設管理事業						他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	漁港漁場整備法			
根拠例規	有	坂井市漁港管理条例			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,164	30,443	4,427	△ 28,279
	人件費	1,612	1,208	1,706	404
	総事業費	3,776	31,651	6,133	△ 27,875
人員	正職員	0.23 人	0.18 人	0.24 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.18 人	0.24 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	1,015	11,900	0	△ 10,885
	その他特定財源	0	6,480	1,274	△ 6,480
	一般財源	2,761	13,271	4,859	△ 10,510

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 施設の安全管理と有効活用及び漁港施設内の市有地確保利用により、漁業者の作業効率の向上と生産性の拡大を目指し、また関係施設等の環境整備により漁業活動の安全と施設等の保全を図る。
【事業の概要】 ○需要費 134 千円 ・修繕料（安島漁港・崎漁港）  ○工事請負費 2,030 千円 ・県単漁港改修事業（崎漁港船揚場コンクリート舗装工事） 漁港名：崎漁港 内 容：船揚場コンクリート舗装工 A=160.0㎡ 負担割合：県1/2、市1/2

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	管理する漁港数	漁港	目標	3	3	3	3	3
			実績			3	3	3
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
独自指標	指標の説明		市の管理する漁港の数					
指標	事故数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			0	0	0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
独自指標	指標の説明		維持管理上の瑕疵による事故発生件数が少ないことで成果が上がる					
指標	利用者数	名	目標	82	85	89	87	96
			実績			89	87	96
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
独自指標	指標の説明		漁業協同組合員が漁業従事した数					
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	漁港利用者は、漁業協同組合の組合員減少により減少傾向にあり、また、高齢化が進んでいる。漁港施設の利用の面から安全に利用され、事故などの発生はなく適正に管理がされています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			施設の機能を良好な状態に保つため、定期的保守点検の実施に加え、不良個所の補修修繕を実施することで、施設を良好に保てました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	漁業者等の漁港内の事故防止と安全管理並びに有効利用を図るため、今後も本事業を継続実施して行きます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						



平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	06	浅海漁場改善事業		
小	事業	01	浅海漁場改善事業					他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コ ス ト	事業費	4,441	1,121	48	3,320
	人件費	1,331	1,208	853	123
	総事業費	5,772	2,329	901	3,443
人 員	正職員	0.19 人	0.18 人	0.12 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.19 人	0.18 人	0.12 人	0.01 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,772	2,329	901	3,443

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
大雨等による河川の増水に伴い、流木、ごみ等が海岸に漂着することから、その漂着物を撤去することで、海岸の環境保全と浅海漁業の発展に資する。

**【事業の概要】**

- 委託料 99 千円  
・浅海漁場改善事業等委託料
- 負担金 4,342 千円  
・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	独自指標	件	目標	1	1	1	1	1
			実績			1	3	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	300.0	100.0
指標の説明		漁港施設内の漂着物の処分件数						
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		漂着物の処理については、利用者である漁業協同組合が実施しているが、人の力では処理しきれない流木などを対象としています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			冬期間の波浪等により漂着物が年数回発生している。自然現象によるもので防ぐことはできないが、漁港施設内に漂着物が漂うことは、施設の破損などの影響があるため、撤去など早急な対応を行い、施設破損等防げました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続
目標年度			目標年度	
方向性の説明	自然災害的に発生する漂着物が無くなることは無いため、継続する必要があります。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
実施事業名(小事業)	基本施策					
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	11	小規模漁場保全事業		
小	事業	01	小規模漁場保全事業						他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
 「ズワイガニ」「アカガレイ」の生息環境となる漁場の積極的な保全・創造を図るため、海底面を耕うんし活性化することにより、水産資源の持続的利用、安定供給を確保する。

【事業の概要】  
 ○委託料 27,432 千円  
 ・調査委託料 1,854千円 委託先：(株)キミコン 坂井支店  
 ・小規模漁場保全事業委託料 25,578千円  
 委託先：三国港機船底曳網漁業協同組合 (単位：千円)

事業実施場所	事業内容	事業費	財源内訳			
			国(1/2)	県(1/4)	市	その他
三国第1・2漁場	海底土分析調査	1,854	927	463	464	-
三国第1漁場	ズワイガニ漁場整備面積 1,395ha	13,806	6,903	3,452	2,070	1,381
三国第2漁場	アカガレイ漁場整備面積 1,265ha	11,772	5,886	2,943	1,766	1,177
合計		27,432	13,716	6,858	4,300	2,558
		補助金計	20,574			

○使用料及び賃借料 227 千円  
 ・検査船借上料

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	27,659	27,593	26,028	66
	人件費	1,892	1,208	924	684
	総事業費	29,551	28,801	26,952	750
人員	正職員	0.27 人	0.18 人	0.13 人	0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.27 人	0.18 人	0.13 人	0.09 人
財源内訳	国県支出金	20,574	20,523	18,750	51
	その他特定財源	2,957	2,913	2,959	44
	一般財源	6,020	5,365	5,243	655

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	越前ガニ 水揚げ量	kg	目標					
			実績			66,721	77,384	85,520
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明	漁業協同組合が水揚げした量							
指標	アカガレイ 水揚げ量	kg	目標					
			実績			33,421	30,368	39,360
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明	漁業協同組合が水揚げした量							
指標	甘エビ 水揚げ量	kg	目標					
			実績			300,736	286,541	313,962
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明	漁業協同組合が水揚げした量							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	水揚げ量については、TAC（漁獲可能量制度）に加え自主規制や気温、水温、気象等の自然条件及び漁船数の減少から単純比較ができません。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	水揚げ量については、TAC（漁獲可能量制度）に加え自主規制や気温、水温、気象等の自然条件及び漁船数の減少から単純比較ができません。		
これまでの見直しや改善等の実績	効果的な事業実施場所の検討を行いました。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	当該事業は、三国沖のみならず越前沖、小浜沖等県内の広域な漁場に対して行われる事業であるため、福井県水産課と今後の事業について検討していきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名（小事業）						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	051	水産業経営支援事業			中事業	01	水産業経営支援事業		
小事業	01	水産業振興事務事業			02	水産業経営安定事業		他2事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
水産業の近代化、安定化及び不漁・災害時における経営の安定化に資するため、各種融資制度、助成制度による支援を行うことにより、水産業経営の基盤強化を図る。

【事業の概要】

○補助金 7,791 千円  
(単位：千円)

事業名	事業主体	件数	補助金額
水産業経営安定緊急対策資金利子補給事業	福井県信用漁業協同組合連合会	3件	168
漁業近代化資金利子補給事業	福井県信用漁業協同組合連合会	7件	636
漁獲共済加入助成事業	三国港機船底曳漁業協同組合	7件	545
漁業経営安定支援事業	三国港機船底曳漁業協同組合 他	37件	6,024
制度融資利子補給事業	福井県信用漁業協同組合連合会	12件	418
合計		66件	7,791

○貸付金 20,000 千円

・漁業振興資金融資事業（漁業振興資金預託金）

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■新規漁業就業者支援
----------	------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	27,791	28,322	29,412	△ 531
	人件費	1,121	873	355	248
	総事業費	28,912	29,195	29,767	△ 283
人員	正職員	0.16 人	0.13 人	0.05 人	0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.13 人	0.05 人	0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	20,000	0	0	20,000
	一般財源	8,912	29,195	29,767	△ 20,283

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	漁業経営の貸付利子補給	件	目標			18	17	23
			実績			18	17	23
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	利子補給の対象となった件数						
指標	新規就業者支援	件	目標	3	3	3	3	3
			実績			0	1	0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
指標	指標の説明	新規就業者支援の対象となった件数						
指標	燃油高等対策	件	目標			34	40	40
			実績			34	40	40
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	漁業燃油補助対象者で補助申請した経営体数						
指標	漁業共済加入	件	目標	7	7	7	7	7
			実績			7	7	7
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	漁業共済加入のうち支援の対象となった件数						
指標に基づく評価	漁業経営に関する支援により効果があると考えますが、気温、水温、気象等の自然条件の影響があるため、事業評価を数値のみで評価することはできません。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			漁業経営は、水揚げ、経費、気象、従事者等のさまざまな影響があり、漁業のみで生計を立てることが難しくなっている。このことから近年漁業者の減少が続いているなか、本事業により経営の安定化を図れています。
これまでの見直しや改善等の実績	国県などの支援など総合的に必要な経営支援を検討しました。また、燃油高等対策事業については漁業形態の相違から公平な支援にならない傾向があったため、平成29年度に検討を行った結果、船底清掃活動支援事業として見直し、平成30年度より実施します。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	燃油高等対策事業については漁業形態の相違から公平な支援にならない傾向があったため、平成29年度に検討を行った結果、船底清掃活動支援事業として見直し、平成30年度より実施します。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	基本施策	3	新たな担い手の確保、育成			
実施事業名(小事業)	水産業経営支援事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	漁業における新たな担い手の確保は重要な課題であるが、新たに漁業を創めるには多額の初期投資や地域に根差した権利など様々な障害があり、今後それらの要因を整理し、一つずつ取り除いていく必要がある。					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	06	栽培漁業自立支援事業		
小事業	01	栽培漁業自立支援事業							他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
栽培漁業を支援することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁獲資源の回復を図り、資源の持続的な活用による中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図る。

**【事業の概要】**

○補助金 2,208 千円  
・栽培漁業自立支援事業補助金

(単位：千円)

事業実施主体	事業内容	補助対象事業費	補助金額	内訳		
				市	その他	事業主体
三国港漁業協同組合	種苗放流事業 マダイ 15,000尾 ヒラメ 26,000尾 キジハタ 2,000尾	2,572	1,433	1,138	295	1,139
雄島漁業協同組合	稚貝育成放流事業 アワビ 37,000個	2,152	1,070	1,070		1,082
計		4,724	2,503	2,208	295	2,221

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	2,208	2,189	1,999	19
	人件費	1,331	1,343	498	△ 12
	総事業費	3,539	3,532	2,497	7
人員	正職員	0.19 人	0.20 人	0.07 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.19 人	0.20 人	0.07 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,539	3,532	2,497	7

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	アワビ放流数/水揚げ量 1個=200g	個	目標	37,000	37,000	37,000	37,000	23,000
			実績			1,500	1,500	3,000
			達成率(%)	0.0	0.0	4.1	4.1	13.0
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量						
指標 独自指標	ヒラメ放流数/水揚げ量 1尾1kg	尾	目標	26,000	26,000	26,000	30,000	31,000
			実績			1,500	1,200	1,200
			達成率(%)	0.0	0.0	5.8	4.0	3.9
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量						
指標 独自指標	マダイ放流数/水揚げ量 1尾1kg	尾	目標	15,000	15,000	15,000	17,000	17,000
			実績			4,600	5,500	5,300
			達成率(%)	0.0	0.0	30.7	32.4	31.2
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量						
指標	キジハタ放流数/水揚げ量 1尾500g	尾	目標	2,000	2,000	2,000		
			実績			900		
			達成率(%)	0.0	0.0	45.0	0.0	0.0
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量						
指標に基づく評価		放流による水揚げ量効果については、1年後から出現するため達成率については、単純比較できない。また、遊漁者への効果も大きいため漁業者が水揚げした漁のみでは評価できないが、遊漁者の数は年々増加しています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			種苗から生育するまでに一定期間が必要なため、即自的な効果を求めることは難しいと思います。
これまでの見直しや改善等の実績	水揚げ量、気温、水温、気象等の自然条件から総合的に判断して、次年度以降の種苗放流、稚貝放流の種類及び量について各漁協と協議し、適切な放流計画を立てました。また、各漁協や県と協議し、平成29年度よりキジハタの試験放流も開始しました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	事業効果を指標にて示すことは、気象等多くの要因があるため難しいが、水揚げ量の推移から効果はあるものと考えられ、受益者負担も妥当な金額と考えられる。今後、市場の魚価や自然環境の変化に対応した新しい魚種の放流を考えていく必要があり、その事業効果が上がれば坂井市の漁業後継者育成につながるものと考えられます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					



平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	101	水産業振興事業			中	事業	16	越前がにブランド化事業
小	事業	01	越前がにブランド化事業						他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	坂井市の貴重な水産資源である「越前がに」の高付加価値化に取り組むことにより、水産振興を図る。
【事業の概要】	
○補助金	1,399 千円
・越前がにブランド化事業補助金	
事業実施主体：三国港機船底曳網漁業協同組合	
事業内容：ズワイガニにつける産地表示用タグ10万個の作成補助	
皇室献上越前がにタグ型枠製作費補助	
補助対象事業費：2,970千円	
補助金（市1／2以内）：1,399千円	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■越前がにのブランド化
----------	-------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,399	999	999	400
	人件費	771	1,007	284	△ 236
	総事業費	2,170	2,006	1,283	164
人員	正職員	0.11 人	0.15 人	0.04 人	△ 0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.11 人	0.15 人	0.04 人	△ 0.04 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,170	2,006	1,283	164

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	タグ製作数量	万個	目標	10	10	10	10	10
			実績			10	10	10
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		タグの作成数量						
指標	漁業経営対数	経営	目標	9	9	9	9	10
			実績			9	9	10
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		三国港機船底曳網漁業協同組合の経営体数						
指標	漁業従事者数	人	目標	58	58	58	58	62
			実績			58	58	62
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		底曳網船の乗組員の数						
指標	越前ガニ 水揚げ量	kg	目標					
			実績			66,721	77,384	85,520
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		越前ガニの水揚げ量						
指標に基づく評価		越前がにの水揚げ量は減少しているが、ブランド化により魚価が向上しているため水揚げ金額は同水準を維持できています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			差別化によるブランド化は、必要であるが全ての越前がにの価格が高騰しすぎることは避けなければならないと考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	三国港機船底曳網漁業協同組合の水揚げ量調査及び水揚げ高を参考に、「越前ガニ」の単価を調査し、事業効果を確認しました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	越前がにのブランドを継続して維持する必要があります。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	基本施策	4-1	農林水産物のブランド化			
実施事業名(小事業)	越前がにブランド化事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> <li>越前がにのブランド化は確立されたが、今後偽の越前がにが出回らないようブランドの保持を考えていく必要がある。</li> </ul>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	26	三国港内夜間安全確保事業		
小事業	01	三国港内夜間安全確保事業					他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	720	720	720	0
	人件費	841	1,007	284	△ 166
	総事業費	1,561	1,727	1,004	△ 166
人員	正職員	0.12 人	0.15 人	0.04 人	△ 0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.15 人	0.04 人	△ 0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,561	1,727	1,004	△ 166

2.事業の目的・概要

<p><b>【事業の目的】</b> 三国港内の投光機の照明により、漁業者、観光客等の安全を確保するとともに、三国港のイメージアップを図る。</p>	
<p><b>【事業の概要】</b> ○補助金 <span style="float: right;">720 千円</span> ・三国港内投光機使用料補助金 事業実施主体：三国港機船底曳網漁業協同組合 事業内容：三国港内に設置されている投光機の電気料に対する補助（11箇所） 補助対象事業費：1,871千円 補助金（市1/2） 720千円（限度額）</p>	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標 漁業者及び観光客等の転落事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績			0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		三国港地区内における転落事故の発生回数						
指標	独自指標 航路内の船舶事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績			0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		三国港地区の航路内での船舶事故の発生回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	投光機により事故などが無く安全性が認められます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			投光機をLED化に更新を随時行っているが、現状は未了である。電気使用量の削減にも寄与するため更新を推進する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	投光機の現状を確認し、転落事故防止に必要な数量を検討しました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	船舶の安全航行のみならず、歩行者の安全を図ることから妥当性は高と考えます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	101	水産業振興事業			中	事業	31	漁業関係種苗中間育成施設管理事業
小	事業	01	漁業関係種苗中間育成施設管理事業						他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		嶺北地域栽培漁業推進協議会 中間育成施設管理規約		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	500	500	500	0
	人件費	981	1,343	284	△ 362
	総事業費	1,481	1,843	784	△ 362
人員	正職員	0.14 人	0.20 人	0.04 人	△ 0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.14 人	0.20 人	0.04 人	△ 0.06 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,481	1,843	784	△ 362

2.事業の目的・概要

<p><b>【事業の目的】</b> 嶺北地域栽培漁業推進協議会が設置する中間育成施設の維持管理に要する経費を負担することにより、栽培漁業の一層の地域定着化と拡大を図る。</p>
<p><b>【事業の概要】</b> ○負担金 500 千円 ・ 漁業関係種苗中間育成施設補修事業 事業実施主体：嶺北地域栽培漁業推進協議会 負担市町村：4市町（坂井市、福井市、越前町、南越前町） 負担金額： 協議会活動費 1,200千円×1/4×1/3=100千円 （坂井市1/3と三国栽培協2/3で分担負担） 協議会運営費 1,200千円×1/4=300千円 維持管理費 400千円×1/4=100千円</p>

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	協議会加入団体	団体	目標	4	4	4	4	4
			実績			4	4	4
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		協議会加入団体：坂井市、福井市、越前町、南越前町						
指標	中間育成（ヒラメ）坂井市分	尾	目標	26,000	26,000	26,000	30,000	31,000
			実績			26,000	30,000	31,000
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		中間育成を行ったヒラメの尾数						
指標	中間育成（アワビ）坂井市分	個	目標	37,000	37,000	37,000	37,000	23,000
			実績			37,000	37,000	23,000
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		中間育成を行ったアワビの個数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		放流費用に係る費用について、共同運用実施することは放流単価を低減させることができることから効果があります。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			中間育成施設の老朽化に伴う施設維持計画を作成する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	中間育成施設の有効利用について、事務局会議で検討を行っています。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	放流費用に係る費用について、共同運用実施することは放流単価を低減させることができることから維持すべきと考えます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	36	内水面漁業振興事業		
小事業	01	内水面漁業振興事業							他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
内水面漁業資源の増大を図るため、組織的な種苗生息環境整備等を行い、良好な漁場環境保全と内水面漁業振興に資する。

【事業の概要】  
○補助金 90 千円  
・竹田川漁業協同組合活動事業補助金  
事業実施主体：竹田川漁業協同組合  
事業内容：放流事業 5月24日 アユ稚魚100kg  
6月21日 イワナ稚魚 25kg  
9月29日 ヤマメ稚魚 30kg  
漁場環境整備及び監視事業  
補助事業に要する経費：938千円  
補助金（市費 1/2） 90千円（限度額）

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	90	4,225	230	△ 4,135
	人件費	841	1,007	284	△ 166
	総事業費	931	5,232	514	△ 4,301
人員	正職員	0.12 人	0.15 人	0.04 人	△ 0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.15 人	0.04 人	△ 0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	931	5,232	514	△ 4,301

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	漁場維持管理（草刈、巡回監視）	日	目標			83	80	78
			実績			83	80	78
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が実施した日数						
指標 独自指標	放流事業（アユ）	kg	目標	100	100	100	95	95
			実績			100	95	95
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標 独自指標	放流事業（ヤマメ）	kg	目標	30	30	30	30	40
			実績			30	30	40
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標 独自指標	放流事業（イワナ）	kg	目標	25	25	25	25	35
			実績			25	25	35
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標に基づく評価	漁業協同組合が漁場を維持管理することで、環境美化に寄与している。また、自然豊かな環境で遊漁できることは、観光客誘致などにも寄与している。遊漁者が多く訪れる条件としては、自然環境に加え多く魚が居る必要があるため、放流事業も効果が認められます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 組合活動経費に制限があることから満足できる放流量が実施できていません。
これまでの見直しや改善等の実績	活動内容や決算内容から、事業の有効性を確認した。また、漁業協同組合と協議し今後の方向性について模索しました。

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	内水面漁業者への水産振興が事業の目的であるが、人口が減少する竹田地区においては環境の維持、美化に寄与することが大きな成果となっている。今後は、放流事業の拡大等を行うことにより、地域振興を含めた事業効果が期待できるものと思われます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ 基本施策		施策	
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				



平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	56	水産業振興イベント事業		
小事業	01	三国市場さかな祭事業							他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	補助金事業 (事業補助)		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

<p><b>【事業の目的】</b> 坂井市で水揚げされた低利用の水産物について「底曳、一本釣り、浅海」の漁業関係者が主体となって実施する、低利用水産物の販売促進を目的としたイベントの開催を支援する。</p>	
<p><b>【事業の概要】</b> ○補助金 ・三国市場さかな祭事業補助金 事業実施主体：三国市場さかな祭実行委員会 事業内容：さかな祭りの開催 (9月10日) 補助対象事業費：878千円 補助金 (市費1/2以内)</p>	439 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■三国市場さかな祭り
----------	------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	439	500	500	△ 61
	人件費	1,051	1,343	498	△ 292
	総事業費	1,490	1,843	998	△ 353
人員	正職員	0.15 人	0.20 人	0.07 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.20 人	0.07 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,490	1,843	998	△ 353

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	イベント来場者数	人	目標	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績			2,500	2,500	2,500
			達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	イベント出店数	店	目標	10	10	10	9	9
			実績			10	9	9
			達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	毎年、年1回実施している「三国市場さかな祭」の来場者も多く地元産の水産物のPRや魚食普及などに効果があります。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題 出店者がイベントに慣れていないため、販売数量の見込みが合わない場合がある。また、三国市場で実施するため来場者駐車場が限られ、これ以上の来場者増加が見込めません。
これまでの見直しや改善等の実績	ステージイベントなどの見直しを行っています。 出店者数を増やすため参加募集を実施しました。

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	イベントを通じ各種団体の交流が発生し、意見交換や水産業に関連した意見がでるなど、将来的に活躍できる組織となると考えます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ 基本施策	4 1 1	経済・観光の活性化 全国規模の集客イベントの誘致	施策	4-4	観光の振興
実施事業名(小事業)	水産業振興イベント事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三国市場さかな祭りを開催して、一般消費者（お客様）の水産物に対する意見を直接聞くことができた。</li> <li>・お客様の購買動向を見ていると、各家庭で魚を捌くことが少ないため一匹丸ごとの魚を購入する人が少なかったことより、更なる魚食の普及活動が重要と気づいた。</li> <li>・三国港で水揚げされた「甘えび」を安価で提供したことにより、実際の美味しさを実感し甘えびの普及に繋がった。</li> </ul>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	201	水産多面的機能発揮対策事業			中事業	01	水産多面的機能発揮対策事業		
小事業	01	水産多面的機能発揮対策事業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,506	2,576	260	△ 70
	人件費	1,752	1,343	924	409
	総事業費	4,258	3,919	1,184	339
人員	正職員	0.25 人	0.20 人	0.13 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.25 人	0.20 人	0.13 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	189	260	260	△ 71
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,069	3,659	924	410

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
水産業の再生・漁村の活性化を図るため地域協議会を設置し、水産業・漁村の多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する地域の取り組みに対し支援する。	
【事業の概要】	
○旅費	38 千円
・特別旅費	水産多面的事業講習会参加
○需用費	152 千円
・消耗品費	活動組織の指導等確認事務を実施
○負担金	2,316 千円
・福井県水産多面的機能発揮対策地域協議会負担金	
負担割合：国70%、県15%、市15%	
負担額：15,445千円×15%=2,316千円	
活動組織：5組織（三国町米ヶ脇、安島、崎、梶、浜地）	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	活動組織	組織	目標			5	5	5
			実績			5	5	5
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標					
			実績			23	23	23
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	漁業者が中心となり地域活動として、藻場の保全や漂着物の処理を実施している。漁業者以外の方にも多面的機能の必要性を共有することができ、地域として保全活動が実施できています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			事業内容が、水辺で行うことから天候に左右され延期や中止が発生する。その都度、事務局が参加者に連絡する必要があり苦労しています。
これまでの見直しや改善等の実績	作業記録の保存について、活動内容が把握できる内容に改善を行いました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	坂井市においても、漁村地域に限らず高齢化が進み本事業の目的を継続して実施する必要があり、各活動組織の中から後継者等が育っていくと考えています。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						